



# ペテコタ

2018年10月1日発行  
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113  
鹿児島市東谷山2-33-13

TEL 099-268-2084  
FAX 099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人： 頭島 光 神父 編集委員： 太田勇二郎 Sr.下川千穂子 岸誠之助

## インドネシア訪問で思うこと

今年の夏は、本当に今までで最高の暑さだったのではないと思われるほどでした。しかし、この暑い夏に、もっと暑い国と思われる、インドネシア。今回はその旅の話をしてみよう。

### ◆ジャカルタの教会

今年、8月1日、聖アルフォンソの祝日の朝午前5時半過ぎ、私はジャカルタ空港に立っていた。お迎えにきてくれたボスコ神父様と久々の再会であった。最初に訪れた先はボスコ神父が5年間主任司祭として働いた聖アロイジオ教会。何と8000人の小教区。それはインドネシアでは珍しくない。若い二人の司祭が働いていた。勿論、レデンプトール会の神父たち。主任司祭は30代くらいの若い神父、半そで、短パンというラフな格好で歓迎のあいさつを受けた。

### ◆子どもたちとの出会い

実は8月1日は、ボスコ神父の叙階日記念、13年目を迎える。ということで、その日の昼はアロイジオ教会のレジオマリエ会員たちとお祝いの会食となった。宿泊先は「イエスの愛の修道女会」の修道院。シスター院長様は44歳。話を聞くと彼女がこの修道女会の最初のシスター、つまりこの会の創設時の第一人者。会員は全部で14人、西チモールにも支部があるという。何人か若い志願者もいた。シスターの仕事は孤児たちの世話。ここジャカルタの修道院はその孤児院を兼ねていて、向かい側にも古い建物があって、この施設内全体で6カ月の赤ん坊から高校生まで138名の子どもたちが共同で生活している。ボスコ神父はここで人気者、多くの子どもたちが彼を覚えている。シスターは子どもたち全員にカトリックの洗礼を授けると言う。

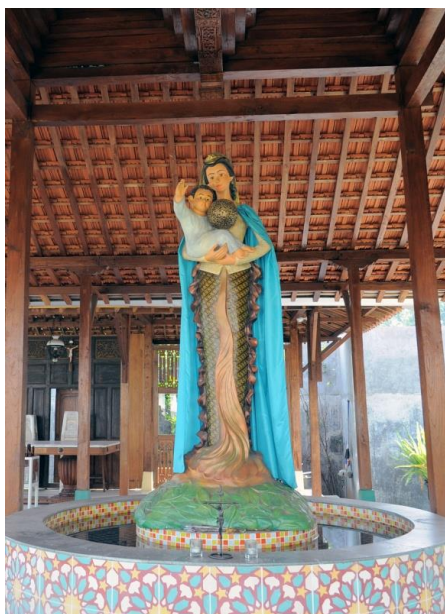
### ◆インドネシアの風

初日からインドネシア教会の大きさに圧倒される。ジャカルタのカテドラルではちょうどミサが始まるころだった。脇祭壇にご聖体が顕示されていて、少々不思議に感じたが、実際どの教会に行っても、どの聖堂にも必ず顕示されていた。聖体訪問は誰でもいつでもできる、というわけ。また司祭ならミサも捧げられることが後で分かった。また聖堂内にはファチマの聖母像もあるが、祭壇の装飾も朗読台も見事で、よく見るとその縁取りの飾りや彫刻は全てインドネシア風。明らかにインドネシア文化の華であると言える。特にインドネシア人風に描かれたマリア像はとても印象的だった。



### ◆1945年8月17日

この日、インドネシアは73回目の独立記念日を迎える。日本の約5倍の面積を持ち、信徒数も日本の凡そ5倍の約600万人ほどだ。勿論、人口の約85%がイスラム教徒ではあるが、バリ島を中心に広がるヒンズー教徒とカトリック教徒、またプロテスタント諸教会がインドネシア文化と見事に融合しているのが、まさにインドネシアだという印象を持った。それにもまして、私にとって初めてのインドネシア訪問は、多くの人々、子どもたちと出会い、彼らの中にある天真爛漫な姿とありのままの信仰を感じたことだった。神に感謝です。

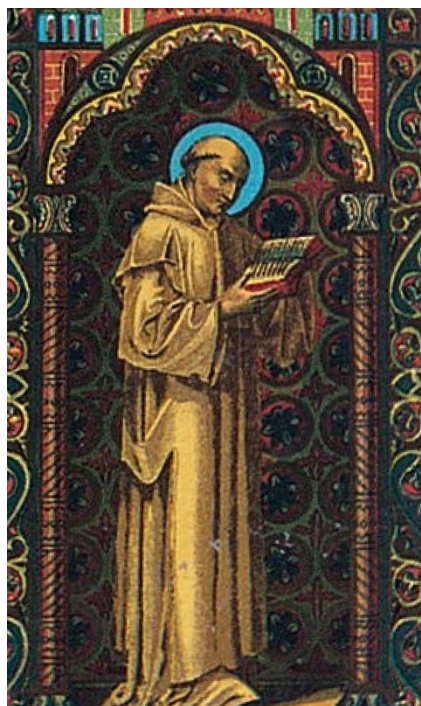


実は、バリ島で地震にも会いましたが、逆に日本より涼しかったのです。私は、熱く燃えてる国、インドネシアを感じてきました。 終わり。

主任司祭 頭島光 神父

# 今月の聖人から ケルンのブルーノ司教

10月11日



ブルーノは聖女マチルダとヘンリー皇帝の末子として生まれ、4歳の時にユトレヒトに送られ教区学校に入学した。わずか14歳でオットー1世皇帝の秘書に選ばれ、950年司祭に叙階、その3年後にはケルンの大司教に任命された。彼はそこに聖パンタレオン修道院を創立したが、その美しい聖堂は今日に至るまで残っている。

オットー皇帝はブルーノをロライン公爵に任命し、自らのローマでの戴冠式に同行させた時には、ブルーノを神聖ローマ帝国の摂政に任命した。

ブルーノの望みの一つは、生まれ故郷の町にベネディクト会の修道院を建設することであった。また大司教としての功績は素晴らしいものであったが、政治家としての世俗の義務もまた怠ることはなかった。

ブルーノの宗教的熱意を表す最も美しい記念物は、今日まで残るケルンの聖パンタレオン教会であろう。

司教であると共に政治家であったブルーノは、世間において神に仕える召命と、教会の中で神に仕える召命の間に、何の矛盾も見出さなかった。

## Taniyama CC NEWS

9月17日午後2時から鹿児島ハイドン協会合唱団の第13回演奏会が行われました。曲目はハイドンの「神なる聖ヨハネのミサ・プレヴィース」とマーテルの「悲しみの聖母」でした。

当日は天候にも恵まれ大勢のお客様が聖堂に溢れて、名曲名演奏に酔いしれました。

教会は多くの色々な方々の訪問を歓迎すべきですが、それに見合う設備の貧弱さが気がかりです。特に手洗い場は予想されていましたが、混雑を極めました。設備の拡張が無理であれば、現在の設備で受け入れ可能なイベントにしぼって、お招きすべきではないでしょうか。

ご意見を聞かせてください。

9月15日、草刈がおこなわれました。いつもの通りの有志の方々が汗を流して下さいました。厚く御礼申し上げます。



予告： 聖アルフォンソ合唱団が本年度第2回目のミサ曲奉獻を、福岡のカテドラル・大名町教会で（10月7日午前9時30分）幸田司教様司式のミサ中で行います。

10月28日は教会バザーの日です。現在提供品の受付をしています。使い馴染んだ品物の提供はどうぞ遠慮ください。



# ムイベルガ神父のアンテナ

## 時代の変化

1945年に第二次世界大戦が終わってから、様々な国で新しい時代が始まりました。戦争に負けた国の人々は、新たな職場、住まい、学校、病院などを建てる事が一番大きな苦勞になりました。一方で、勝利した国の政治家は、勝利を自国の利益になるように働きかけました。しかし、この戦争の結果について、壊された建物だけでなく、そこで働き生活していた人々の事も考えるべきです。戦争のために、5千5百万人の人々が亡くなり、3千5百万人の人々が負傷し、3百万人の行方不明者が出ました。国から追放されたり逃亡した4百万人のポーランド人、またユダヤ人たち、この場合には、国を建て直すのは非常に困難がありました。それは、人々の心の中に仕返しや憎しみなどの気持ちが大きかったためと考えられます。

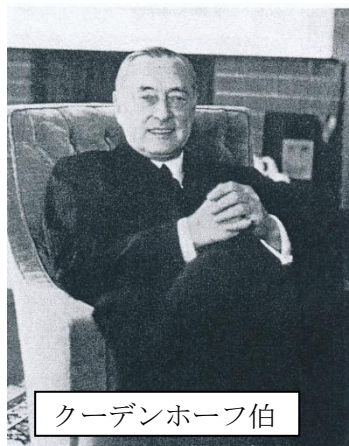
当時、ピオ 12 世教皇は、政治家たちに和解のために働くよう繰り返し願いました。幸いに、ヨーロッパで 3 人の政治家がこの呼びかけに応えました。彼らは、クーデンホーフ伯(クーデンホーフ光子夫人の息子)の考えを取り上げました。それは、ヨーロッパが一つの共同体

になれば平和になる、というものです。確かに、EU ができましたから、100 年以上の間人々は平和のうちに暮らし働く事ができ豊かな時代になりました。ある意味で、EU は他の国にとって経済的に望ましい国になりました。

同じような目的を、共産主義国家の支配者も目指しました。しかしこの場合、人間の自由と権利よりもイデオロギーが大切にされました。その結果は簡単に言いますと、経済はうまくいきませんでした。人々は国から逃げました。東ヨーロッパから大勢の難民が西ヨーロッパに入りました。これは、新たに非常に大きな時代の変化の原因になりました。今度はアフリカ、イラン、シリア、レバノンなどから、難民になった人々がヨーロッパ、または他の国に入る事を希望しました。この時代の変化にどう応えるべきでしょうか。教会の指導者にとって、本当に悩みになる質問です。イエズス様はこの質問に次のように答えました。『はっきり言っておくが、わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことになる。』



クーデンホーフ光子



クーデンホーフ伯



語らう皇太子殿下(現天皇陛下)

平成30年 谷山教会10月の予定と祝日表 (10/1~10/31) 西暦2018年

日時	典礼 と 行事	朗読奉仕	掃除	班会等
10月1日 (月)	記念日 聖テレジア(幼いイエス)のおとめ教会博士 6:30 朝ミサ 19:00 納骨堂管理委員会			
2日 (火)	記念日 守護の天使 6:30 朝ミサ			班会お休み班 ④⑤⑥⑦⑪
3日 (水)	19:00 水曜ミサ ミサ後 求道者勉強会Ⅲ-3			
4日 (木)	記念日 聖フランシスコ(アシジ) 修道者 6:30 朝ミサ			
5日 (金)	記念日 福者フランシス・サビエル・セーロス 19:00 初金ミサ			
6日 (土)	19:00 年間第27主日のミサ			⑧⑨掃除後教会
7日 (日)	6:30 & 9:00 年間第27主日 9:30 聖アルフォンソ合唱団 福岡カテドラル大名町教会でモーツァルト戴冠ミサ曲奉献	上釜、田代	(8)(9)	
8日 (月)	6:30 朝ミサ 13:00 司教叙階式(宝山ホール)	国民の祝日(体育の日)		
9日 (火)	6:30 朝ミサ			
10日 (水)	19:00 水曜ミサ			
11日 (木)	6:30 朝ミサ			
12日 (金)	6:30 朝ミサ			
13日 (土)	19:00 ひまわり幼稚園入園説明会 年間第28主日のミサ			⑩掃除後教会
14日 (日)	6:30 & 9:00 年間第28主日 ミサ後 司牧評議会	塩貝、岸は	(10)	
15日 (月)	記念日 聖テレジア(イエス)のおとめ教会博士 6:30 朝ミサ			
16日 (火)	記念日 聖ジェラルド・マイエア 修道士 6:30 朝ミサ			
17日 (水)	記念日 聖イグナチオ(アンチオク) 司教殉教者 19:00 水曜ミサ ミサ後 求道者勉強会Ⅲ-4			
18日 (木)	祝日 聖ルカ福音記者 6:30 朝ミサ			
19日 (金)	6:30 朝ミサ			
20日 (土)	19:00 横浜障害者大会 年間第29主日のミサ			①掃除後教会
21日 (日)	6:30 & 9:00 年間第29主日	吉留、源元	(1)	
22日 (月)	6:30 朝ミサ			
23日 (火)	6:30 朝ミサ 19:00 市民クリスマス実行委員会			
24日 (水)	19:00 水曜ミサ			
25日 (木)	6:30 朝ミサ			
26日 (金)	6:30 朝ミサ			
27日 (土)	祝日 聖シモン・聖ユダ使徒 19:00 年間第30主日のミサ			②③掃除後教会
28日 (日)	6:30 & 9:00 年間第30主日 ミサ後 教会バザー	岸、村山	(2)(3)	
29日 (月)	6:30 朝ミサ			
30日 (火)	6:30 朝ミサ			
31日 (水)	19:00 水曜ミサ ミサ後 求道者勉強会Ⅲ-5			
ロザリオの祈り	[毎週(火) 10:00]	2日、9日、16日、23日、30日		
聖書を学ぶ勉強会 (エレミヤ書)	[毎週(水) 10:00]			
レジオ・マリエ	[毎週(水) 14:00]	3日、10日、17日、24日、31日		
聖書と教理- I	[毎週(木) 15:00~16:30]	4日、11日、18日、25日		
聖体礼拝	[毎週(木) 13:30~14:30]	11日、18日、25日 4日の第1回はサビエルで7:00から		
聖書と教理- II	[毎週(金) 9:00~10:00]	5日、12日、19日、26日		

奉納は掃除当番が行う  
十月の行事当番は五・十一班

平成 30 年度(2018 年)第 5 回 司牧評議会の報告

2018. 9.23 ミサ後開催

**【審議事項】**1. バザーについて

- 1) 日程 10 月 28 日(日) ミサ 9:30～ バザー 11:00～14:00 2) テーマ 『被災地のためのチャリティーバザー』
- 3) 収益金の使途について・・・今年の収益金の中から昨年を参考にチャリティーする額を決める。
- 4) 各班の販売品 (9 月 23 日現在)
- 1 班 炊き込みごはんのみそ汁 2 班・3 班 赤飯、他 4 班 カレー 5 班・11 班 ぜんざい 6 班 やきとり 7 班 汁もの、苗物 8.9 班 コーヒー・紅茶・ケーキセット、フランクフルトソーセージ 10 班 抹茶セット、マスコット人形 ポーイスカウト 野菜販売 未定・教会学校/あすなる
- 5) 提供品販売について
- ・今年は各班から一人ずつ協力してもらい約 6 名で販売を行う。・収集は 10/6(土)～10/21(金)まで。新品のみ受け付けます。・値段つけは 10/21(金)13:00 から行います。皆さんお手伝いをよろしくお願いいたします。
- 6) 食べ物の取り扱い、衛生管理について・・・信徒会長より うがい、手洗いをよく行い、マスク、手袋を着用して調理する。・さめる時に菌は繁殖するので、途中でさまさないこと。
- 7) ポスター作成・・・教会学校 / 原版は岩崎さん 8) 食券作成は岩崎さん・・・必要な班は9月中に金額と必要枚数を申し出て下さい。食券販売期間 10/7～ 9) お茶係・・・各班 2 名、30 分交代で行う。
- 10) 駐車場・・・幼稚園、旧エブリワン跡地 ※谷山信者は可能な限り、幼稚園駐車場を利用して下さい。係・・・増田、岸さん他 ※搬入等一時的に駐車する場合は短時間で移動厳守のこと。
- 11) 看板・・・入り口に中看板 2 か所、会場に大看板 1 林さん作成
- 12) 会計より・・・純利益のみを提出。現金売りのない班は会計に材料費を請求して下さい。会計は当日のみ。

2. 班制度について 4 回目

- ・班のなかで掃除、行事に協力出来る現在の状況 : 1 班=7～8 名 (ゆらいあいと重なる時は半数になる) 2.3 班=7～8 名 4 班=10 名 5 班=3 名 6 班=10 名 7 班=5 名 8 班=0 名 9 班=9 名 10 班=2～4 名 11 班=5 名
- ・所属の班が分からない方がいるかもしれないので、ミサの後、班ごとに集まり、班の確認をする機会をつくる。
- ・班のかたちは変えずに掃除、行事などの時だけ班を合体し、スムーズに行えるようにしていきたい。

3. 10 月 8 日(月)叙階式ボランティアの協力をお願いします。・前日 18:00～設営 ・当日 会場案内・ 式後のかたづけ**【日程のお知らせ】**

- 10 月 1 日(月) 19:00～ 納骨堂委員会 3 日(水)、17 日(水)、31 日(水) 19:00～ミサ後 求道者勉強会
- 7 日(日) アルフォンソ合唱団 カトリック大名町教会大聖堂に於いてミサ曲奉献
- 8 日(月) 13:00～ 司教叙階式 於:宝山ホール/ その後、祝賀会 於:サンロイヤルホテル
- 14 日(日) 9:00～ ミサ後 司牧評議会 19 日(金)～21 日(日) 主任司祭は横浜の障害者大会のため留守。
- 27 日(土) 主任司祭は長野へ出張のため留守になります。28 日(日) 9:30～ ミサ後 バザー 11:00～14:00
- 11 月 3 日(土) 「レオ税所七右衛門殉教祭」 11:00 京泊カトリック天主堂跡集合→巡礼行列→記念ミサ
- 4 日(日) 13:00～ 「命日祭ミサ」於:やすらぎのドーム。その後「総会」於:クレメンスホール。

**【報告事項】** : 御聖堂の電球の照明が LED に替わり明るくなりました。蛍光灯は在庫が残っている間は使用していきます。

**【その他】** : 教会の塔を含め建物全体の安全を検討する「教会堂整備委員会」を立ち上げます。11 月末～12 月初めには第 1 回委員会を実施します。役員に選ばれた方々はよろしくお願いいたします。

また、毎月の当番班が決まっています。行事がある時はお茶出しなどの協力をよろしくお願いいたします。

(以上のことが話し合われ了承されました)